

# トップアスリートの人間形成と競技特性の関係に関する考察 ～フェアリージャパンでの経験を中心にして～

## A study of the relationship between the character building and sport characteristics of top class athletes -Focusing on the experience in Fairy Japan-

1K08B130-1

坪井保菜美

指導教員 主査 石井昌幸 先生

副査 杉山千鶴 先生

### はじめに

「新体操と出会えて良かった。」本論文では、私がそう思えるまでに至った道のりを書き留めていきたい。人を魅了したいという思いから、私はいつの間にか日本を背負い、世界を相手に闘っていた。新体操は、美しく、そして芸術性のあるスポーツである。自分の想いを踊りで表現する難しさを知り、自分の努力によって、人の心に伝わったときの喜び、そして感動は、私の1番の嬉しさであった。本論文は、そのような新体操の競技特性が、私の人間形成にどのような影響を与えたのかについて考察することを課題とする。

### 第1章 新体操について

新体操は、芸術的なスポーツの一種である。新体操が世界に広まったのは、オリンピックの正式種目になったことがきっかけである。個人競技が正式種目となったのは、1984年のロサンゼルスオリンピックである。団体競技は、1996年のアトランタオリンピックであった。新体操の歴史は、まだまだ浅いということがわかる。

13m×13m四方のフロアの上で、5種目の中から2年に1度、国際体操連盟(FIG)によって規定される手具を使用し、音楽に合わせて演技を踊る。FIGが制定する採点規則に基づき、美しさ・難度の正確性・手具操作などの観点から、複数の審判員に採点された得点で順位を競い合う。

新体操の試合では、レオタードというコスチュームを着用する。これは1800年代半ばごろ、当時フランスで人気を誇る空中曲芸師、ジュール・レオタールという人が最初に着たことから名付けられた。

### 第2章 競技生活について

私が新体操と出会ったのは5歳の時である。小さいころから活発だった私を見て、両親が新体操スクールに通わせてくれたことがきっかけとなった。

新体操をはじめて1年。クラブのコーチに勧められた、選手を選抜するためのオーディションに合格し、育成選手クラスに上がった。週1回のレッスンから4回へと増え、小学校1年生の時には、自分1人の個人演技で県大会に出場した。

3年生の時には、選手であることを自覚し、海外の選手に憧れを持つようになった。中でもベラルーシのユリア・ラスキナのように、何か一つ自分にしかないものを光らせたいという思いから、観ている人の心に残る選手になりたいと思うようになった。

5年生になったとき、ベラルーシへ合宿に行ったことで、日本と海外との差を大きく感じた。新体操はヨーロッパ方面の国が強豪国と言われている。1960年代～1980年代末にかけて、ブルガリアは新体操王国と言われていたが、2000年のシドニーオリンピック以降、ロシアのアリーナ・カバエワにより、芸術性が求められていた以前の新体操から、難度や柔軟性を重視するルールへと急激な変化が起こった。

6年生になり、全日本の大会ではじめて表彰台に上がった。私の結果に対し、心から喜んでくれたコーチの目には涙が溢れていた。自分が努力することで、人を笑顔に変えることができる幸せを味わったのである。それがこの試合で得た1番の嬉しさだった。

中学1年生になり、個人強化指定選手になった私の生活は新体操が主となっていた。4年生のときから、環境の整ったイオンに、私を育てたいと声をかけてもらっていた。1度は試みるものの、勇気と、自信のなさに行く決意はできなかったのである。それが、私にとってはじめての人生の選択であった。そして訪れた2度目の選択。それは、高校1年生になったときである。“2008年北京オリンピック”を目指すための“日本代表選抜団体チーム”の一員になるということだった。私はオリンピックを目指す覚悟を決め、共同生活を送りながら、1日8時間の練習を耐え抜いた。

2007年ギリシャにて、オリンピックが懸かった世界選手権で見事枠を勝ち取り、オリンピック出場が決まったのである。レギュラー争いの日々は辛かった。仲間であり、ライバル。そして一緒に戦い抜いた、2008年北京オリンピック。大きな舞台を経験し、チームが笑顔で終わることはできなかった。この悔しさを忘れてはいけないと痛感した。自立をテーマに、リベンジを兼ね2009年、三重県で行われる世界選手権へ向け、再びスタートした。本番1発勝負。オリンピック以上にプレッシャーを感じる中、私の求めていたものを実感する結果を残せた。会場中に響き渡る大歓声の中、最高の演技を観て感動してもらえたことに幸せを感じたのである。

### おわりに

新体操の世界での経験と、新体操の持つ競技特性は、私の人間形成に大きな影響を与えたと言える。それは一言でいえば、もう一人の自分を横に置き、自分を客観視する方法を知らず知らず自分がつくり出していたことであつたと思う。